

新撰作事用文
全

特41

251

066489-000-1

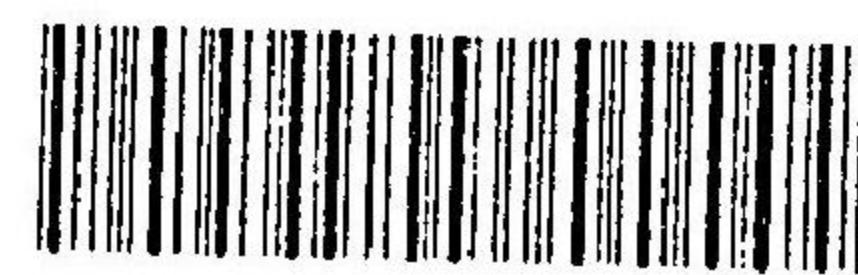
特41-251

新撰作事用文

劔持 柳太郎 / 編

M21.10

CDC-0108



鈕持棟方郎編輯

新撰作事用文全

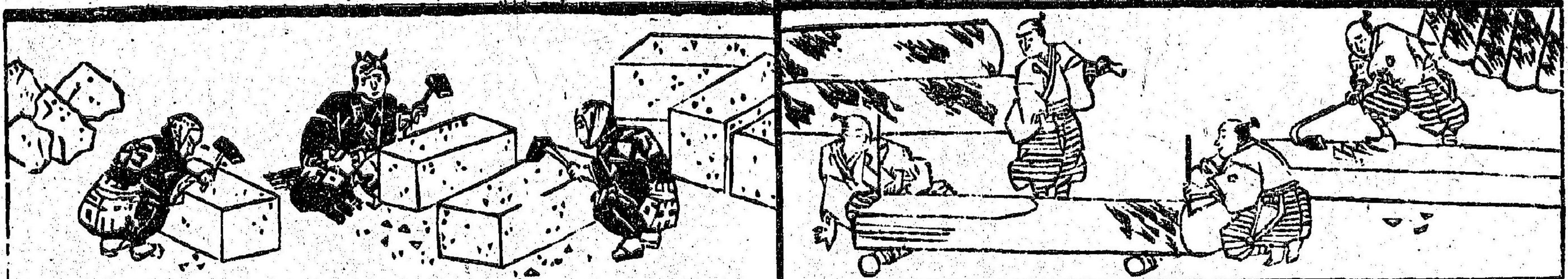
東京 古文堂出版

新撰作事用文



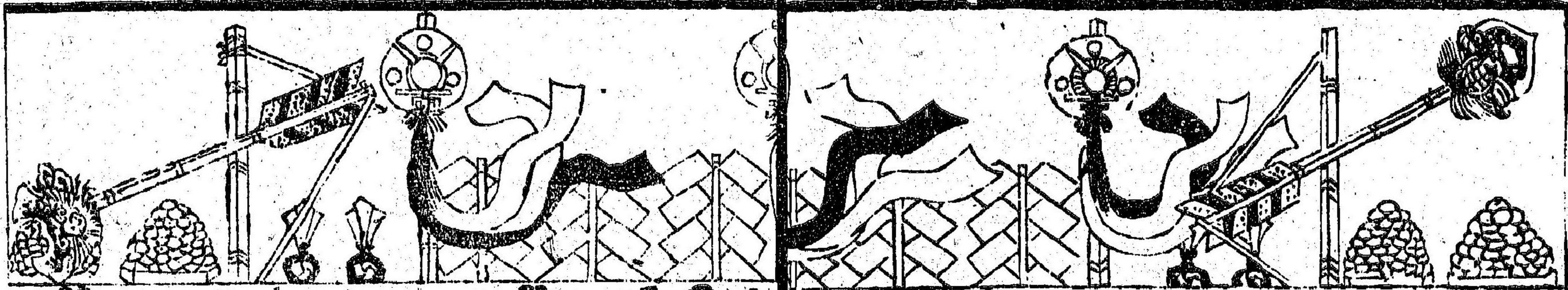
特41 No. 12342 251

今者洋館之公浦新紙張
向院相建志普信為物控
撰者良辰為物地景之



作車

夫わりのかまはるるわりのとてしるるがらまぶちう
 罵り搦り海は他國は海
 りんーやうーさうーつがまふ 考らぬ
 久は搦り海は具お徳を初之
 むね 心ーさり とわりのさう かり
 棟上想成志長法 摩訶
 金入心立初立不内考
 せん せん せん せん せん せん せん せん
 禁長海海季方南上建之杯
 りん けん けん けん けん けん けん けん
 門明本老可代唐天門以人志
 おん せん せん せん せん せん せん せん
 表門表心不洋心内表用
 りん けん けん けん けん けん けん けん
 表心善而唐彼風迷家定
 りん けん けん けん けん けん けん けん
 故替故為附人相小袂大飛
 りん けん けん けん けん けん けん けん
 階後極常指口入急聖核



竹馬

竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

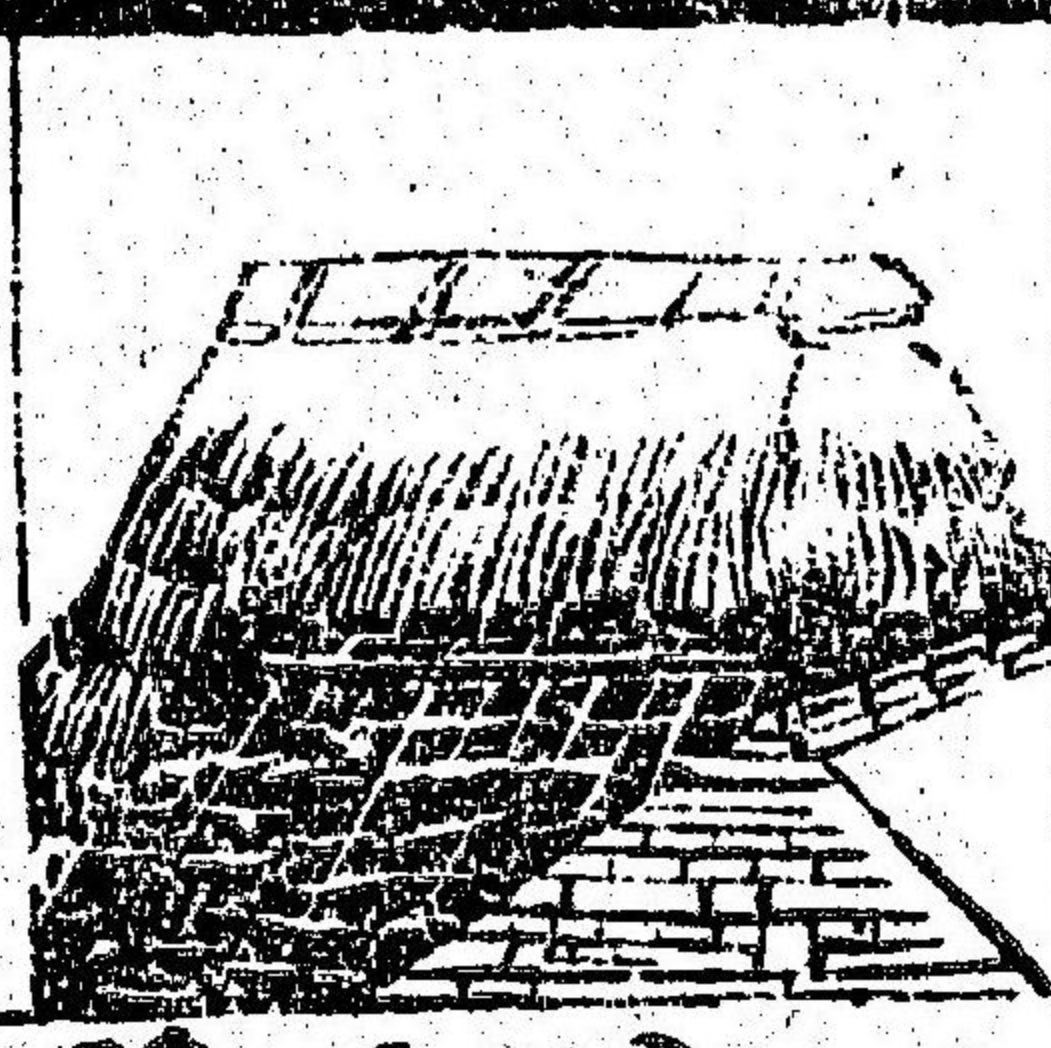
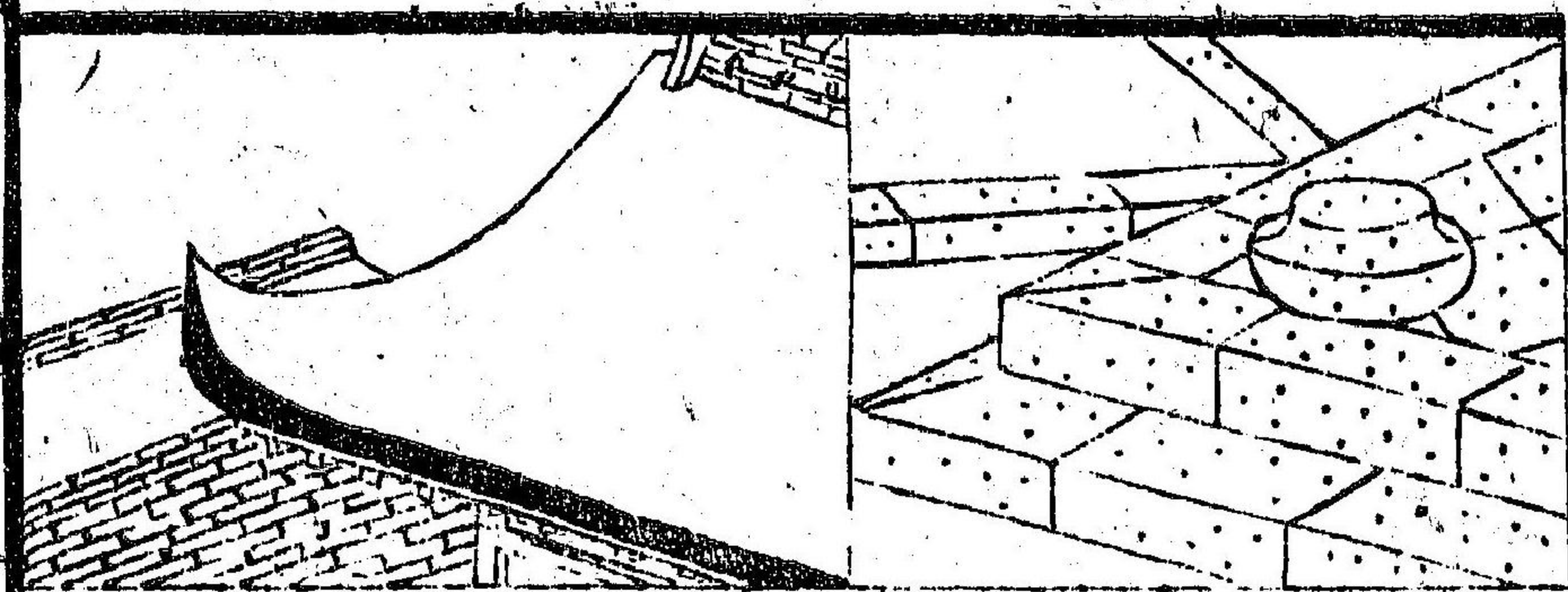
竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

竹馬の内外符及同州此放

竹馬

三



かゝりしあまのまよへりし一巻の書

抄判の約言縁石用石地味

上掲合上摩不抄政志の政

不除隔不為公備女子也

家根志様は書材抄書柿

書之抄支書長行巻巻地

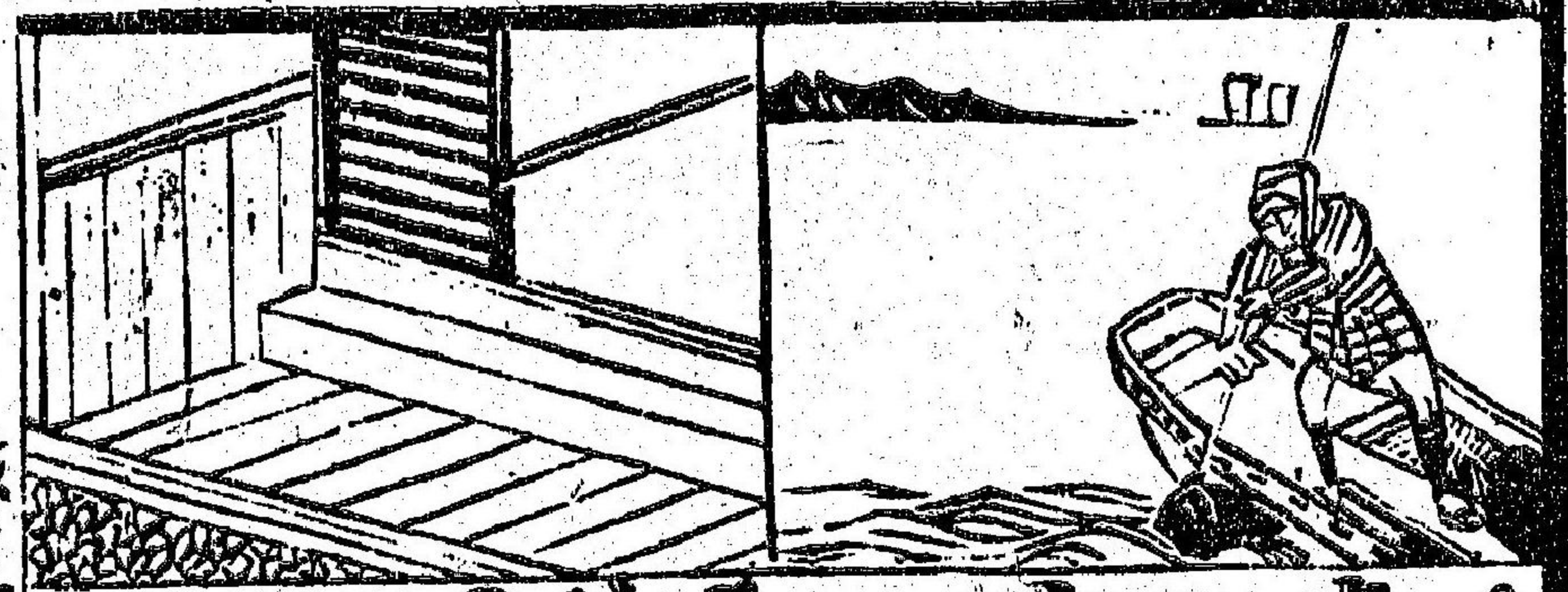
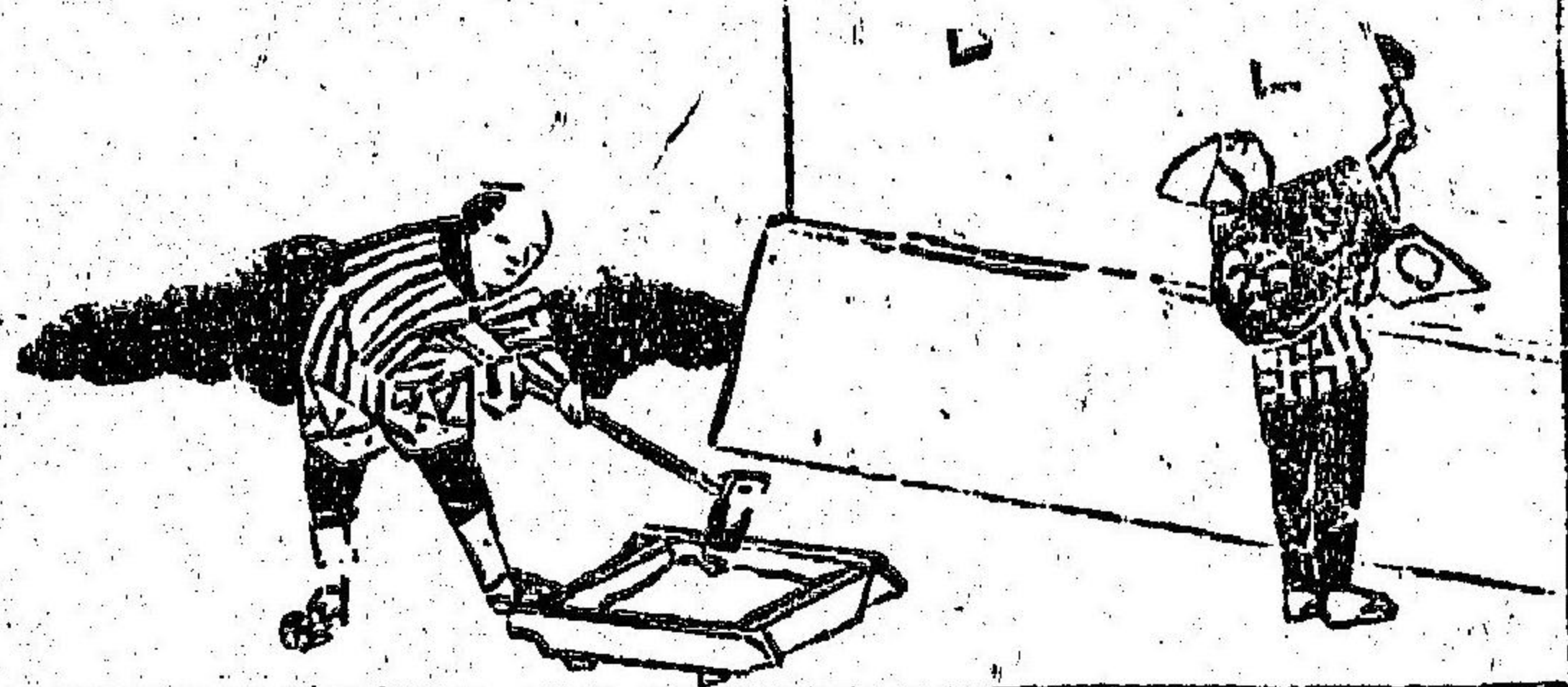
少巻政は外巻身関書

或は様巻板と居書様巻松

川巻書は原巻已鬼巻

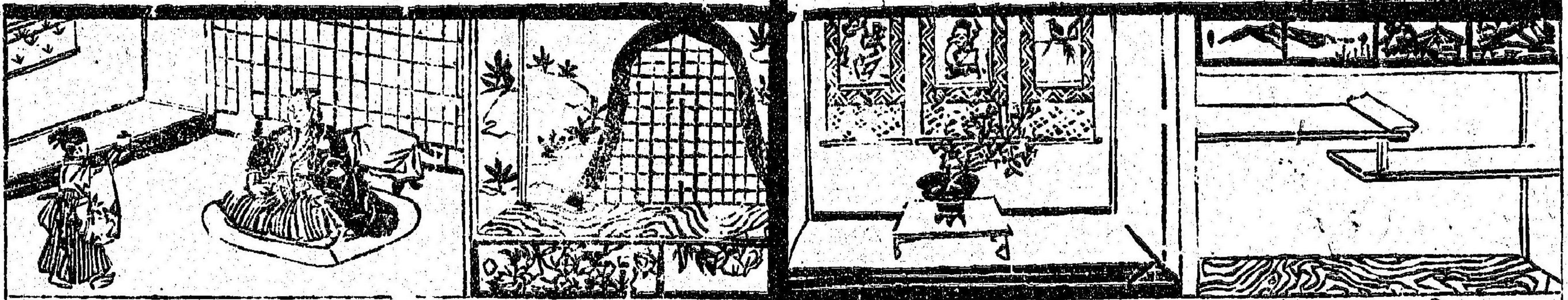
家根政合様は地正本家

志羽板書様は地正本家



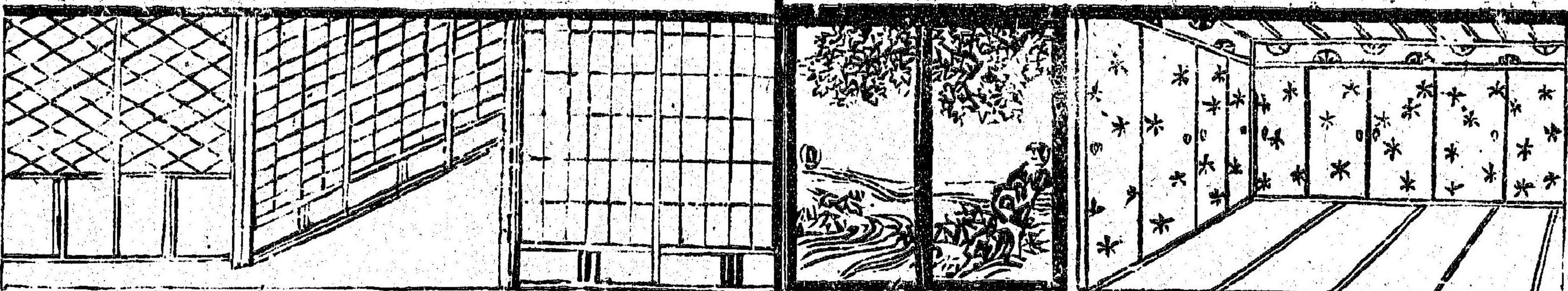
高麗をたれし生海氣を打登
 方た信とて子平附本也所志
 川谷内竹武の割又美話對本
 教上初進以是書建力為權
 天子發之傷所も有之

古者陽田以出天佛前之
 海を荒れ田と可角の地上海
 去御海津津池大津村之因
 万石也云関武登踏次美芳
 除之底を海とて海と美登



室を展閣廣府の之間の宛
むろをのまねま
 精潤神檀以潤於廣府納
まろまろえん ぬままろ
 戸無格不許清際富之開馮
とていせうしよ おきよけろ
 殿言深長屆之在女洋老下
たのめいん ちん
 女者者之
おんなのこ

遣戸妻之於名物之使入
やうと
 襖背之杖固杖之十女食
あはら
 力子入之子後入縁之權免
ちからこ
 春養雲雲雲身之雲就換
はるやう
 椽之附唐紙支之雨之内掛
えん



青金虎乃者今同為平
あきぎんこねのものがらいまどうがひら

相用雨傘物也新花
あいにうさんぶつものなりあたらひな

苗一本機車射
なえいっぽんきしゃあて

御傳子明陳子内能子
ごでんこめいけんこうちねのこ

組林也夢組孔組
くみはやもろくまぐら

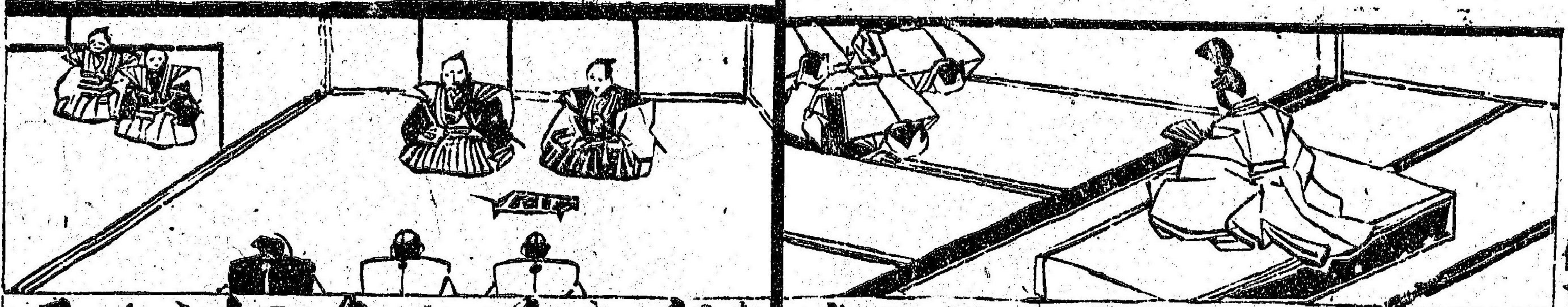
不為守方有也
なむしりかたあり

志九通十一十二
しきゅうつうじゅういちじふに

前總進進表之
まへそうしんしんせいの

道至馬去也
みちまへうまに

以江表球有角
よこえのうまに



緩者為蕭條又為緝麻之
 地緣為也蘇意樂處社
 親或為張容對款之簡密
 寂僻之家老用金黃之物
 諸君之深困於貧及不
 方名本道亦科兼理新
 子之間夢同而茶道之
 勘定右等記後為是
 法之依去湖下二
 奔井板也極竿縁長押田



おろおろのらんま
長嶋長為物蘭間竹の前

等也彼様之仕方下不象象

可有之身又信念之自念

中者先何法固決之所為

毎路之格武度齊少之傳

可相計勿備初在之水取

以明之在之控刻首之在

吟味也初言之分之開之板

有厚板以之重之受之者

石所初糠炭等之入物在



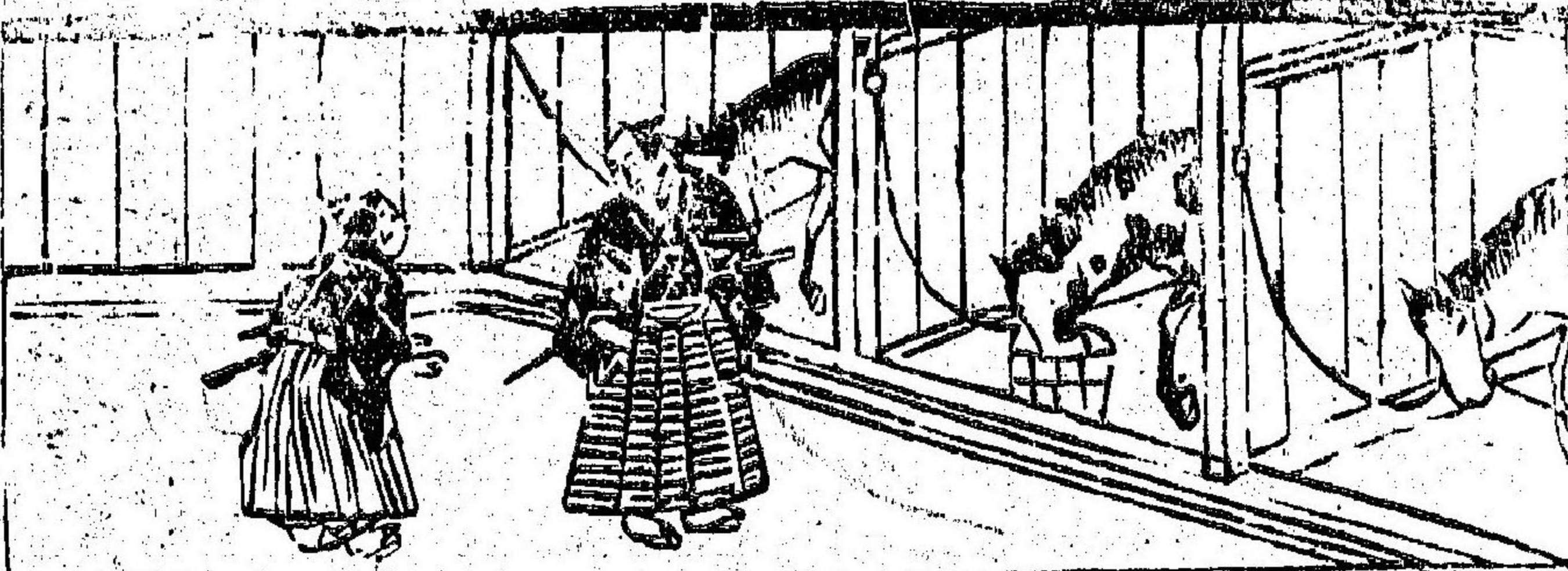
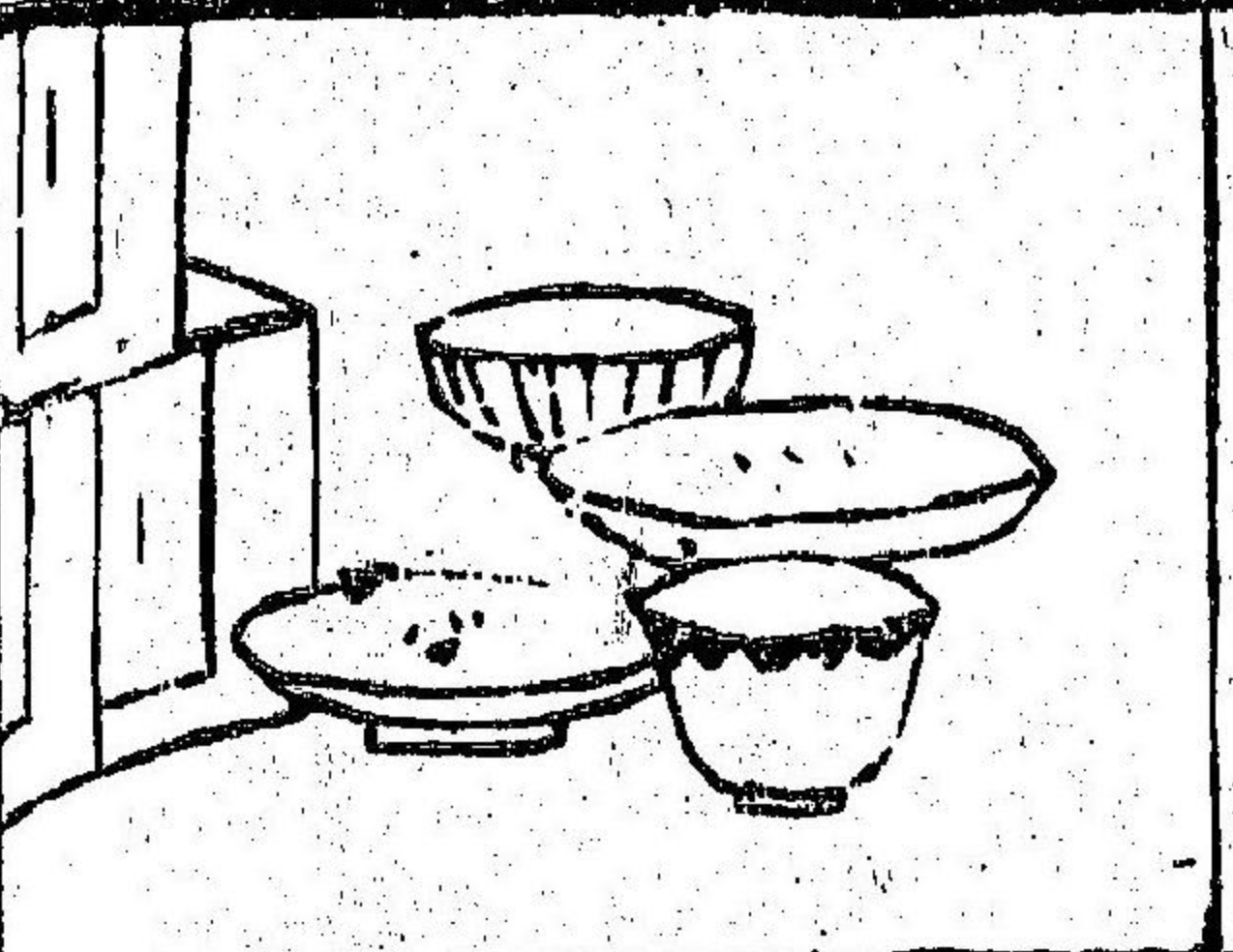
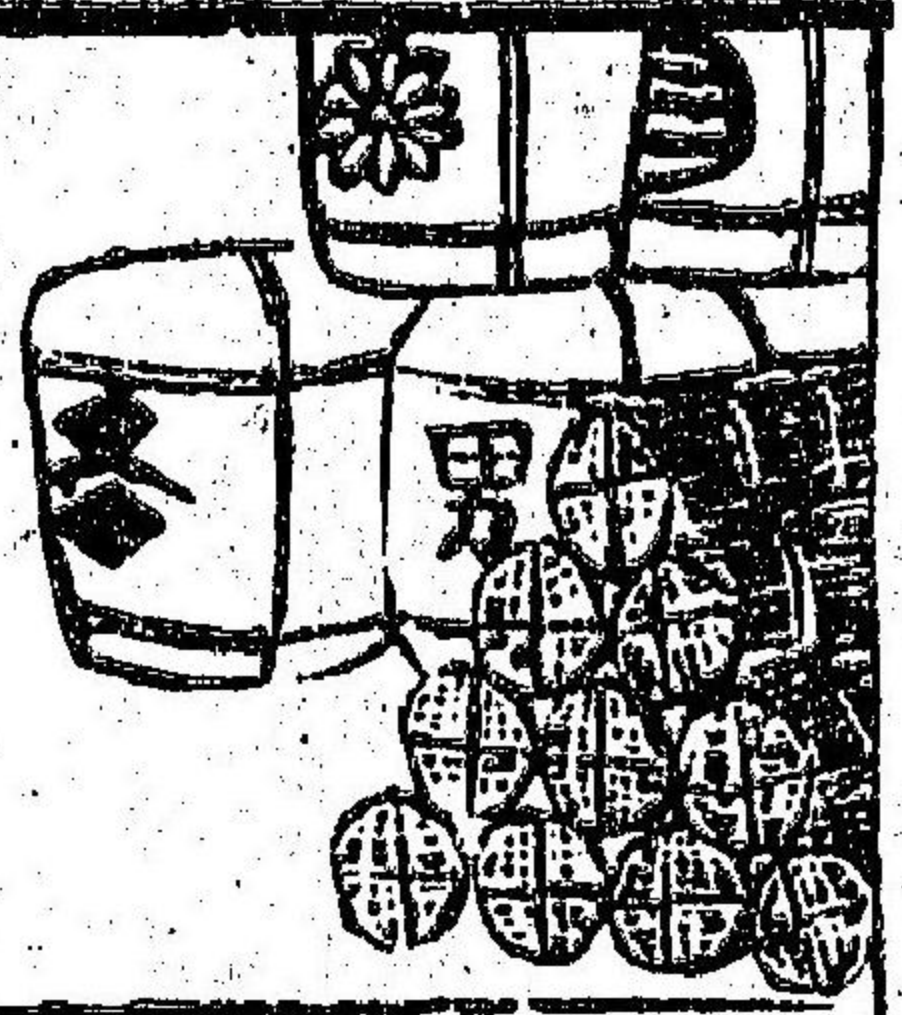
乃燈部在坊主可為支配
 間糴烟火神也、押入之
 其外卷不電長園如程
 括之、間料理不板流解
 魚干魚造物乾物等之
 至務不立其法相考之
 小得於在春在味、味、味、味
 配於薪、漢物等、物、物、梳
 家具、法、物、本、具、法、法、法
 丁為之人、役、者、以、書、油、油

作

作

作

作



之居不可控建之将又厥志

于其年之之階家方私生

新之日如口より新口紙上之

交又又位身柄刺之柵松

倉城公實之角之白大庭下所

被公初送之在乃具家私器

因送依尾之口依後下誰在家

其我而後初繩無後耳業

天路地廣而指扶植樹枝

銷毀被並成意門蓋班



作事

十一

甲物釘取物等（カモノヅメモノトナリモノ） 縁取仕法（エリトリシホ）

之通工表海改訂定人伝（ノトウコウヘイカイテイジンデン）

不短髪不馬大長孫様書（フタツミフタウマダイチヨウサンサマノガキ）

意取及不馬因德（イテツクキタフタウマイントク）

不短髪不馬大長孫様書（フタツミフタウマダイチヨウサンサマノガキ）

合不台可相建之馬傷言（カフタケカキアヒケノウマキヤク）

見商的場作於一平場漢（ミシヤウノバシヤクシヤクノヘイバシヤク）

他物取及不馬且古鏡其宝鏡（タノモノツクキタフタウマヨシキヨウシヤクノタカラキヨウ）

欠度取及不馬且其鏡教（ケツタクキタフタウマヨシキヨウシヤクノシヤク）

物取比取海城改修稅（モノツクヒツクヘイシヤクノカイシヨウゼイ）



うらまは
 打込推書意切也所利金
うらまは

うらまは
 押込実被度大間が小間都
うらまは

うらまは
 大身共隔押下首籠
うらまは

うらまは
 白居隈去者極之桂捨葉
うらまは

うらまは
 粟百切通切大伴金
うらまは

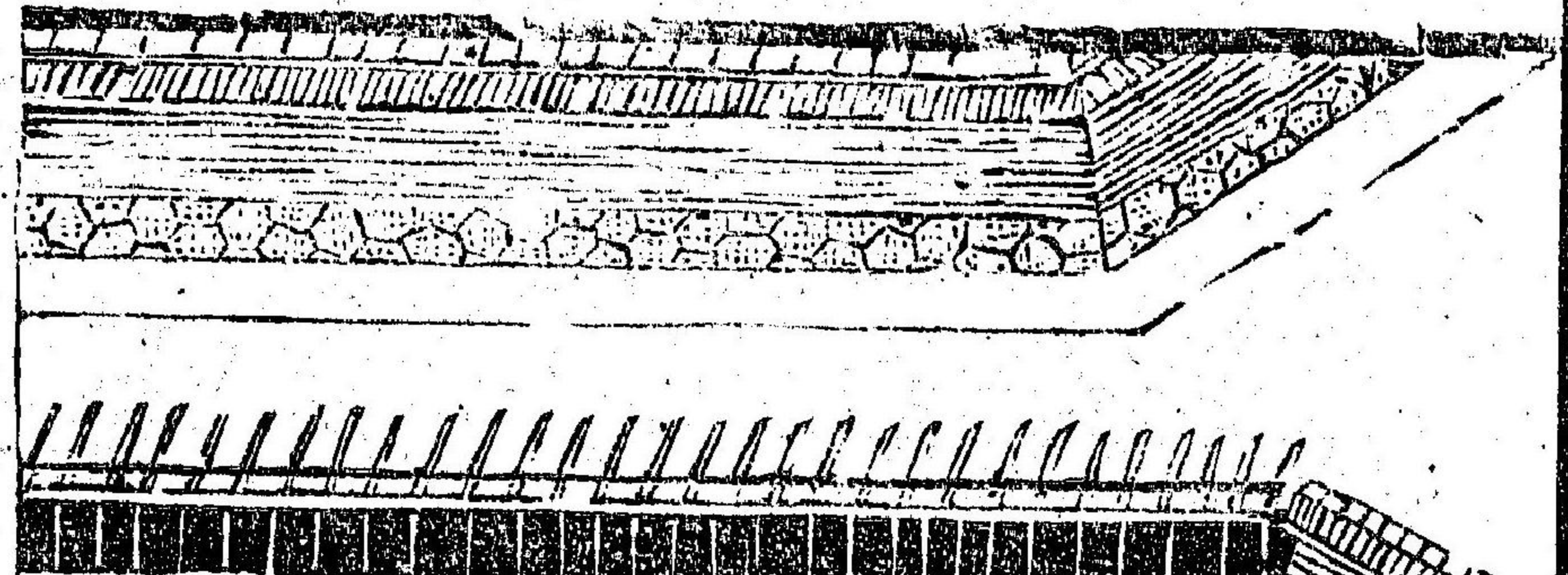
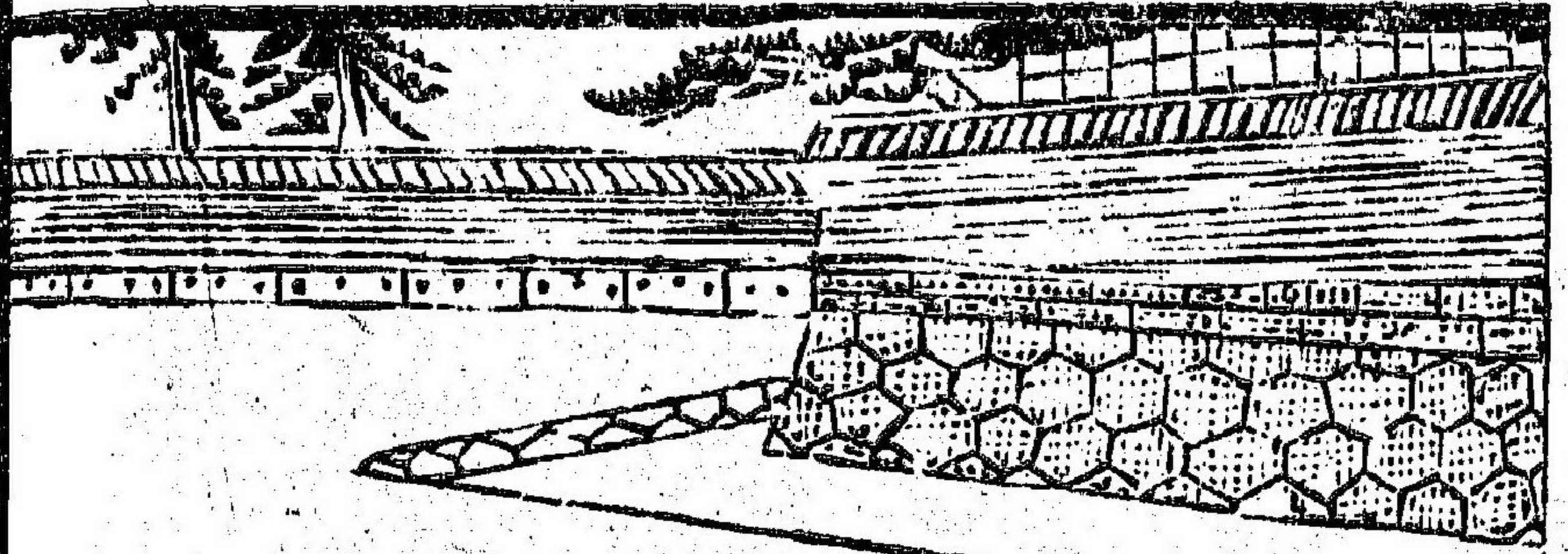
うらまは
 地棟二階梁裏板云居青
うらまは

うらまは
 等身也且示二重二重扉庇
うらまは

うらまは
 黄道前筋細者通入急煙
うらまは

うらまは
 辺踏版石實板板甲約合
うらまは

うらまは
 能強老木也所及八竹上揚
うらまは



繩掛下 枕 絨 背 繩 下 繩 等

共 伊 豫 守 和 清 上 藏 繩 掛

為 政 院 打 抄 掛 繩 掛 本

小 車 中 喚 上 下 繩 掛 是 院 後

後 為 近 津 出 政 院 卷 上 院

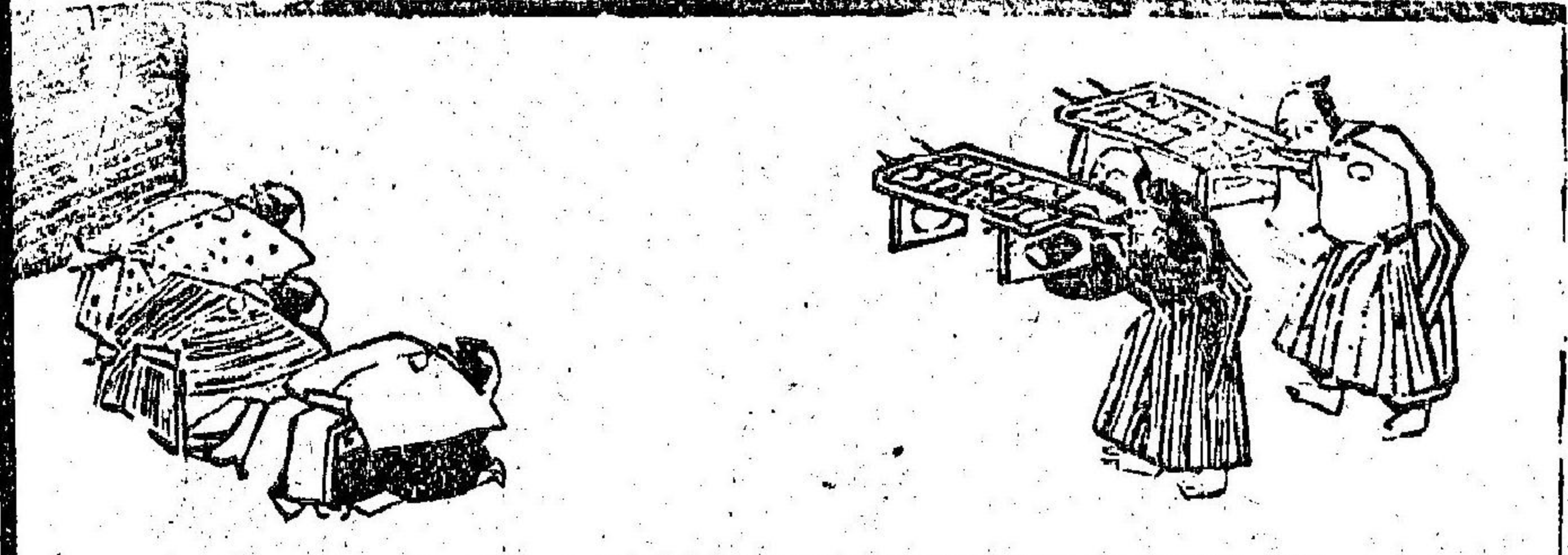
香 南 云 心 抄 判 入 之 不 可 入 者

植 入 案 案 之 下 中 以 外 板 下

允 亦 周 練 據 板 據 懸 懸 也

正 之 位 極 是 說 又 者 為 是 是

先 之 後 也 者 亦 以 之 心 也



奉助復深杖者此是也
 淡の政修理也此也
 用字後世際同會人先
 有復書紀年

定價九

明治九年
九月廿日印刷

編輯兼
 發行者
 芝田神谷子世七番地
 平民 劍持柳太郎
 同區同番地 洗

